

日 時	令和4年10月3日（月） 14時00分～16時00分
視 察 先	岡山県総社市
視 察 目 的	<p>特定事件12 障害者福祉の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者千五百人雇用について</li> <li>・事業主の方のための障害者雇用支援について</li> </ul>
視 察 概 要	<p>○総社市片岡市長による歓迎の挨拶の中で、障がい者雇用政策に取り組んだ経緯について説明を聞いた後、直接市長との質疑応答となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片岡氏が市長に就任した平成19年（2007年）当時は、3,152人の障害者の内、18～60才までの就労対象者数は1,200人で、働いているのは180人であった。残り1,020人は家でひっそりと暮らしており、その1,020人の方を社会に呼び込み、働いてもらおうと掲げたのが「障がい者千人雇用政策」の始まりとのこと。</li> <li>・平成23年7月から令和4年3月末までに1,029人の障害者が就職し、目的を達成。新たに障がい者1,500人雇用を目指す取組を開始した。</li> </ul> <p>○障がい者千五百人雇用政策について、保健福祉部福祉課より説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業体制やハローワーク総社との協働、障がい者千五百人雇用センターの役割と活動。</li> <li>・障がい者千人雇用事業による成果・課題。</li> <li>・これからの千五百人雇用が目指すもの～ライフステージの一貫した支援～。</li> </ul> <p>○障害者の就労事業所、就労継続支援A型及びB型事業所の2か所を見学。</p>
所見及び所感	<p>障害者雇用事業を行った経緯について、片岡市長自ら30分以上熱く語られたことに対し、敬意と感謝を申し上げます。</p> <p>障害者1人1人が自立し、地域で安心して暮らせる社会の実現を目指し、ライフステージの一貫した支援を行う総社市の取組は、大変参考になりました。</p> <p>和光市においても、障害者雇用の拡充を目指すことにより、共生社会の地域づくりができるのではないのでしょうか。</p>

日 時	令和4年10月4日(火) 10時00分～11時30分
視 察 先	岡山県赤磐市
視 察 目 的	特定事件11 高齢者福祉の推進について ・公設民営化複合型介護福祉施設事業について
視 察 概 要	<p>①あかいわハートフル太陽開設までの経緯について、保健福祉部社会福祉課長より説明を受ける。</p> <p>(1) 市民病院の閉院から基本構想策定業務に至るまで(平成26年度～平成27年度)</p> <p>(2) 基本構想策定業務の実施(平成28年度)</p> <p>(3) 運営事業所の公募(平成29年3月～7月)</p> <p>(4) 施設設計・建設への取組について(平成29年～平成31年3月)</p> <p>②ハートフル太陽における各施設運営以外の事業のうち、入浴通所サービス事業について、ビデオ視聴と、介護保険課副参事より説明を受ける。</p> <p>③質疑応答</p> <p>④施設内見学</p>
所見及び所感	<p>市民病院閉院後の新たな介護福祉施設の整備は、市民にとって大きな関心事であることから、市は住民と幾度も協議を行い、事業内容の検討に時間を割いた。</p> <p>また、事業手法としてDB方式(設計：デザイン・建設：ビルト一括発注方式)を採用し、設計・建設事業者よりも先に運営事業者を選定し、設計への意見反映を行ったことで、施設の内容をいち早く住民に示し、安心感を持ってもらいたかったと述べていた。</p> <p>施設見学では、明るくて広い廊下の設計や、多目的に使えるスペースの確保をはじめ、利用者の立場に立った配慮を感じとることができた。</p> <p>市民との協議を重ねた結果、施設の運営は順調で、また、市の施設であることから市民の安心感が得られ、令和元年度よりも令和2年度の利用者及び収入額は増加している。</p> <p>障害者グループホームの浴場を昼間の時間帯に活用した入浴通所サービス事業は、施設の効率的活用の事例として興味を持った。</p>

日 時	令和4年10月3日（月） 14時00分～16時00分
視 察 先	岡山県総社市
視 察 目 的	<p>特定事件12 障害者福祉の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者千五百人雇用について</li> <li>・事業主の方のための障害者雇用支援について</li> </ul>
視 察 概 要	<p>1 事業の概要説明</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 総社市の概要</li> <li>(2) 総社市の保健福祉政策</li> <li>(3) 「障がい者千五百人雇用」事業の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 就労継続支援A型事業所</li> <li>イ 就労継続支援B型事業所</li> </ul> </li> <li>(4) 障がい者千五百人雇用事業の体制</li> <li>(5) ハローワーク総社との協働</li> <li>(6) 障がい者千五百人雇用センターの活動概要</li> <li>(7) 他の分野の政策との連携</li> <li>(8) 事業の成果と課題</li> <li>(9) 事業の今後の展望</li> </ol> <p>2 現地視察</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) がじゅまる（ハンドメイド製品製作等）</li> <li>(2) サンガーデン吉備路（ガソリンスタンド）</li> </ol>
所見及び所感	<p>就任以来、自らの政治課題として、障害者の雇用を最優先課題とした片岡総社市長の強いリーダーシップにより、職員の意識を変化させ、企業側の障害者を雇用する認識も変わった。</p> <p>障害者の雇用者数も、目標値に向けて伸びている総社市の事業は、簡単に真似ることは難しいと認識するが、現在の課題をどのように克服し、更なる目標である、障害者のライフステージに対する一貫した支援をどのように実現していくのか。</p> <p>「全国屈指の福祉先駆都市」の今後に注目していきたいと思います。</p>

日 時	令和4年10月4日（火） 10時00分～11時30分
視 察 先	岡山県赤磐市
視 察 目 的	特定事件11 高齢者福祉の推進について ・公設民営化複合型介護福祉施設事業について
視 察 概 要	<p>1 複合型介護福祉施設開設までの概要</p> <p>(1) 事業の概要</p> <p>(2) 市民ニーズを考えた経緯と工夫</p> <p>(3) 事業の効果</p> <p>(4) 運営事業所及び市職員の感想</p> <p>(5) 日経BP総合研究所主催の表彰</p> <p>2 複合型介護福祉施設の事業内容</p> <p>(1) 小規模多機能型居宅介護（キバラ）</p> <p>(2) 居宅介護支援事業</p> <p>(3) サービス付き高齢者向け住宅（エルダーホーム）</p> <p>(4) 障害者グループホーム（ビルド）</p> <p>(5) 入浴通所サービス事業</p> <p>(6) さんさんマルシェ</p> <p>(7) 地域交流拠点</p> <p>3 現地視察</p> <p>地域交流拠点の健康づくり教室～小規模多機能型居宅介護 入浴通所サービス～サービス付き高齢者向け住宅</p>
所見及び所感	<p>平成26年の市民病院閉院から現在に至るまで、市は、市民と議会に対する対話と説明の過程に多くの時間を費やしたことや、閉院後の方向性を早期に市民に示すことで、住民に安心感を与えようとした行政職員の努力等について説明を受け、市民生活に大きな影響を与える事業の難しさを感じた。</p> <p>それを乗り越えた先にある新たな市民サービスを、いかに分かりやすく、丁寧に説明し、理解を得るかは、特段変わった奇策によるものではなく、愚直に説明をしていった職員の熱意なのだと理解した。</p>

日 時	令和4年10月3日(月) 14時00分～16時00分
視 察 先	岡山県総社市
視 察 目 的	<p>特定事件12 障害者福祉の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者千五百人雇用について</li> <li>・事業主の方のための障害者雇用支援について</li> </ul>
視 察 概 要	<p>総社市は人口流入が多く、人口69,660人。“全国屈指の福祉先進都市”を目指している。リーマンショックが障害者雇用のきっかけ。市内で2,000人以上が職を失う。平成23年4月「障がい者千人雇用」を開始。ハローワーク、企業関係者などで組織する「障がい者千人雇用委員会」を設置し、課題を抽出。障害者の就労を通して、生きがいを感じながら、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的として、障がい者千五百人雇用事業の体制に。千五百人雇用センターの職員は、登録者に対してマッチングから生活までマンツーマンでサポートを行うとともに、企業など、就労先へのアフターケアも担当する。乳幼児・就学期、青年壮年期、高齢期の一貫した支援を目指す。</p> <p>サンガーデン吉備路を視察。社会福祉法人がガソリンスタンドを展開。安定した石油製品供給のみならず、障害者が活躍し、健常者との相互の「癒し」が実現。加えて高齢者等の雇用も創出。</p>
所見及び所感	<p>片岡市長のお話を伺い、障害者雇用に対する市長の強い熱意が伝わってきました。</p> <p>総社市の企業では、障害者を貴重な戦力と考え、職場の団結力向上にもつながっています。</p> <p>障害者が、就労によって生活保護を受けるのをやめて自立し、納税者になることで納税者が増加し、社会参加も増えるという、すばらしい取組だと感じました。</p> <p>職員も最初は反対や反論をしていたそうですが、徐々に成果が現れると、他の職員にもやる気が伝播し、一体となって取り組んでいくことで、千人雇用に到達しました。</p> <p>自治体と市民が共存共栄するシステムを入れていこうとする市長のリーダーシップ、強固な意志によって、このような取組が実現できたと感じられますが、市長の本気度によって、様々なことが実現でき</p>

るとともに、そのような取組を和光市でも参考に、ライフステージの一貫した支援によって、障害者1人1人が自立し、安心して地域で暮らせる社会の実現につなげてほしいと実感しました。

今後の総社市と市長の動向にも注視していく必要があると感じました。

サンガーデン吉備路の理事長は、元市議会議員の方とのことで、議員の時から社会問題に対して、このように解決に向けて実際に取り組まれる姿勢は本当に素晴らしいと感じました。

障害者が地域社会の中で、地域の方々に支えられ自立し、共生・共存していく新たなモデルとして、今後の運営にも期待をしております。

日 時	令和4年10月4日（火） 10時00分～11時30分
視 察 先	岡山県赤磐市
視 察 目 的	特定事件11 高齢者福祉の推進について ・公設民営化複合型介護福祉施設事業について
視 察 概 要	<p>赤磐市は人口42,661人。複合型介護福祉施設あかいわハートフル太陽を視察。地域福祉サービスの充実を目指す赤磐市が、施設整備と事業運営で民間と連携。2019年4月1日から、地域の実情に適合した共生型サービスが開始される。市民病院が無床の診療所になったことに伴い、自宅で安心して暮らせるよう、住宅支援を充実させることを基本方針とし、さらに介護予防の活動や、地域の若いファミリーも世代を超えて交流できる複合機能施設を計画。市は住民と何度も協議を行ったので、事業内容の検討に時間を要した。名称は公募により決定。「太陽のように大きく、温かく、明るく、一人ひとりに心を込めた介護施設、地域の交流の場であるように」との思いが込められている。民間の活力やノウハウを活用したいと考え、市が減価償却や初期投資を行う公設民営とし、運営事業者を公募。令和元年度から2年度に全施設で利用者数及び収入額が増加。</p>
所見及び所感	<p>公募前の対話型公募について、運営事業者からは、事業者側の意見を直接聞いてもらえてありがたい、対話型公募は、事業者として最適な提案を行い、自治体としても納得のできる形の事業内容にできるため、指定管理者の公募方法として望ましいと思われた、という意見もあり、今後の事業内容に役立つものと感じられました。</p> <p>入浴通所サービス事業では、地域の元気な高齢者が担い手となって、利用者の支援を行い、地域住民同士でお互いに助け合っている姿が、他の地域でも必要となっているものと思われました。利用者やサポーターの笑顔がとても印象的で、高齢者の居場所づくりが大切なのは、と改めて実感しました。施設は、幅広い利用者、多様な活動に、建物の使いやすさを重視され、明るく開放的な雰囲気にあふれ、非常に過ごしやすく快適な空間でした。</p> <p>社会福祉の課題である人口減少・社会保障費の急増に対する解決策として、公民連携と介護福祉が組み合わさって、持続可能な福祉サービスにつながっていく姿を感じ取れました。</p>

日 時	令和4年10月3日（月） 14時00分～16時00分
視 察 先	岡山県総社市
視 察 目 的	<p>特定事件12 障害者福祉の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者千五百人雇用について</li> <li>・事業主の方のための障害者雇用支援について</li> </ul>
視 察 概 要	<p>福祉先駆都市を目指す総社市保健福祉政策の担当課と分掌事務</p> <p>「障がい者千五百人雇用」事業の経緯</p> <p>障がい者千五百人雇用における就労者数の推移</p> <p>障がい者千五百人雇用に係る経費の推移</p> <p>障がい者千五百人雇用事業の体制</p> <p>ハローワーク総社との協働</p> <p>他の分野の政策との連携、取組</p> <p>障がい者千人雇用事業による成果と課題、展望</p> <p>ライフステージの一貫した支援</p> <p>NPO法人がじゅまる視察（ハンドメイド製品制作）</p>
所見及び所感	<p>市長の情熱と行動が、障がい者の雇用革命をもたらしたと思う。</p> <p>少数者に優しい社会とは、誰もが暮らしやすい社会と考える。</p> <p>社会の決まりも平均的な人に向けられたものであり、その決まりに 適応できない人が障害者と認識される。障害者制度の基本的な考え方 も同じ。障害者/非障害者といった二分法には注意が必要であろう。</p> <p>障害者手帳が交付された人には障害者雇用の機会がある一方で、同 じように社会で生きづらさを感じていても、手帳を持っていないければ 雇用されないという現実がある。支援すべき人/しなくてもいい人 という分類でなく、状況により、柔軟に捉えていく視点が大切だと思う。</p> <p>障害者を社会の中に包摂しようという総社市の努力は、結果として 他の多くの人にとってもプラスになり、付加価値を与えていると思 う。</p> <p>弱い立場の人たちが暮らしやすい社会は、全ての人々が安心して暮ら せる社会であると思う。</p> <p>障害者/非障害者、支援すべき人/しなくていい人のように人々を区別 し分類してしまう社会の普通を問い直すべきと、総社市の戦いは地 域・社会の希望となると思う。</p>



日 時	令和4年10月4日（火） 10時00分～11時30分
視 察 先	岡山県赤磐市
視 察 目 的	特定事件11 高齢者福祉の推進について ・公設民営化複合型介護福祉施設事業について
視 察 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業の概要</li> <li>● 市民ニーズを優先した経緯と工夫 市民病院の閉院～基本構想策定業務、実施、検討状況 事業手法の決定、効果</li> <li>● 赤磐市入浴通所サービス事業紹介ほか</li> </ul>
所見及び所感	<p>複合型介護福祉施設あかいわハートフル太陽は、多世代が安心して暮らせる地域を目的にした、公設民営の複合機能施設との説明でした。</p> <p>子育て世代から高齢者、障害者、そして地域までの共生施設として、地域の方々との交流活動が大きな特徴です。</p> <p>また、コンセプトは「共生型サービスの理念」「新たな地域交流拠点の創出」「地域防災拠点の整備」で、小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援事業所、サービス付き高齢者向け住宅、障害者グループホームがセットされ、世代を超え、地域に開かれた介護福祉の拠点として、地域のニーズに包括的に対応されています。</p> <p>地域全体で高齢者や障害者を見守る複合から生まれる付加価値は、市の価値向上に大きな役割を担っていると考えます。</p> <p>同じ課題を持つ自治体と情報共有され、福祉関係の課題解決に波及される事業として期待します。</p> <p>和光市でも赤磐市の施策は、導入可能か検討する必要があると思います。</p>

日 時	令和4年10月3日（月） 14時00分～16時00分
視 察 先	岡山県総社市
視 察 目 的	<p>特定事件12 障害者福祉の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者千五百人雇用について</li> <li>・事業主の方のための障害者雇用支援について</li> </ul>
視 察 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成23年度～27年度の5か年計画で「障がい者千人雇用」に取り組む。（総社市の障害者のうち18～60歳の人が約1,200人。そのうち働いていない人の人数がおよそ1,000人だった。）</li> <li>●ハローワークと協定を締結、商工会議所と包括協定を締結。</li> <li>●平成23年「障がい者千人雇用推進条例」制定</li> <li>●平成24年「障がい者千人雇用センター」設置</li> <li>●平成29年「障がい者千人雇用」事業により就労者1,000人達成。 「障がい者千五百人雇用」事業として再スタート。</li> <li>●平成23年4月時点で180人だった就労者数を、令和4年4月には1,209人に。係る経費は令和2年度決算ベースで4億8,208万円。</li> <li>●就労事業所2か所を視察。</li> </ul>
所見及び所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>●片岡市長自ら、なぜ障害者雇用に取り組んだのか、どのように進めてきたのかを説明してくださり、その強い意志と熱意に感銘を受けた。本来、雇用の斡旋は市の仕事ではないが、実際に障害のある方たちが暮らしている市にしかできないことがあり、できない理由をひとつずつできる形に変えていった熱意、また、障害者雇用を支援という見地だけではなく、企業の戦力として捉え、企業そのものを活性化していく在り方がすばらしいと思った。</li> <li>●生まれ育ち、社会に出て働き、安心して老後を過ごせるまちへと、トータルで障害者政策を考えていくことは、誰にとっても安心して過ごせるまちになっていくことにほかならないと感じた。</li> <li>●国に要望するだけではなく、地方自治体が自立して、市民のニーズに応える政策を、市民とともに実現していくことの重要性を感じた。</li> <li>●事業所視察では、一般の商品と競争できる質のマスクを製作し全国に販路を広げておられること、また、ガソリンスタンドを就労事業所とする発想に驚くとともに、特に丁寧な洗車で評価されているとのことに関心した。地域の人との交流の場ともなっていてすばらしい。</li> </ul>

日 時	令和4年10月4日（火） 10時00分～11時30分
視 察 先	岡山県赤磐市
視 察 目 的	特定事件 11 高齢者福祉の推進について ・公設民営化複合型介護福祉施設事業について
視 察 概 要	<p>●平成26年の市民病院閉院を契機に、市民ニーズを酌み上げ、病院跡地に複合型介護福祉施設「あかいわハートフル太陽」を、民間活力を導入する方式により整備した。運営事業者を先に選定（対話型公募）し、運営側の意見を設計に反映させた。小規模多機能型居宅介護、サービス付き高齢者向け住宅、障害者グループホーム、居宅介護支援事業所、さんさん広場からなる複合施設で、それぞれの運営企業で構成される共同企業体が指定管理者となっている。</p> <p>●令和元年「あかいわハートフル太陽」オープン。施設運営以外にも①介護予防事業・健康づくり事業・子育て支援事業、②入浴通所サービス事業、③さんさんマルシェ等の事業が行われ、住民サービスの向上につなげている。</p> <p>●利用者数、収入額も期待以上で、運営は順調である。</p> <p>●施設見学</p>
所見及び所感	<p>●弁護士、コンサルタント、建設部門を含む庁内関係部局と、法律や行政手続等に関するさまざまな協議、調整を行い、初めての手法での事業を進められたとのこと、また、議会の理解を得るため何度も説明を重ねられたことなど、さまざまなご苦勞があったことを伺ったが、市の福祉政策の中核を担う施設として大きな成果につながった。住民の意見を酌み上げ、関係各方面との連絡調整等、丁寧に進めてこられたことの成果であると感じた。</p> <p>●入浴通所サービス等に住民の有償・無償のボランティアをうまく組み入れており、利用者の地域とのつながりを強め、また、元気な高齢者の活動の場にもなっている。（通所付添サポーター、入浴サポーター、ハートフル応援隊）</p> <p>●利用者相互の交流や地域との交流に「さんさんマルシェ」や各種イベントが有効に機能している様子が伺える。現在はコロナ禍でイベント等は見合わせているものが多いとのことだが、ボランティアの活用も含め、積極的に地域に開いていく姿勢が感じられた。</p>

日 時	令和4年10月3日(月) 14時00分～16時00分
視 察 先	岡山県総社市
視 察 目 的	<p>特定事件12 障害者福祉の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者千五百人雇用について</li> <li>・事業主の方のための障害者雇用支援について</li> </ul>
視 察 概 要	<p>総社市の人口 69,660人 世帯数 29,214</p> <p>〃 面積 211.90平方km</p> <p>●障がい者千五百人雇用について総社市の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年4月「障がい者千人雇用」を開始 <ul style="list-style-type: none"> <li>〃 7月「就労支援ルーム」の設置(志木市に次2番目)</li> <li>〃 12月「障がい者千人雇用推進条例」を制定</li> </ul> </li> <li>・平成24年4月「障がい者千人雇用センター」を設置</li> <li>・平成26年6月「就労移行支援金制度」の創設</li> <li>・平成29年5月「障がい者千人雇用」事業による1,000人達成</li> <li>・平成29年9月「障がい者千五百人雇用」事業として再スタート</li> </ul> <p>総社市長片岡聡一氏の障害者の就労をテーマに自立できるように、障害者雇用に対する熱い思いと、強力なリーダーシップにより推進されている。</p> <p>当初、市職員は出来ないとの返答であったが、「障がい者千人雇用する」執行部、議会の下承を取り、推進し、現在は1,200人以上の雇用を実現。さらに1,500人を目標に掲げ、市職員も、市内企業50人以下の会社にアプローチして就職の世話をしている。</p> <p>現在は障害手帳保持者35,000人に対して、18歳～60歳の人達の1,239人が就職し、働いている。</p> <p>●雇用事業体制 3本の矢</p> <p>障がい者千五百人雇用センター4名、ハローワーク総社6名、総社市役所6名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A型雇用型事業所は市内に5事業所</li> <li>・B型事業所 市内に12事業</li> </ul> <p>●市内NPO縫製等作業所、ガソリンスタンド就労作業所を視察</p>
所見及び所感	<p>総社市が、障害者の自立支援の為に取り組んでいる千五百人雇用事業はとてすごい内容。1,200人の内、一般就労が60%、福祉就労が</p>

40%。市職員のマッチングの一般企業に訪問し、マッチングされている労苦に敬意を表します。総社市のこの取組には学ぶ事が多い。今後の市政に活かしたい。

片岡市長の熱意ある説明に感謝です。

また、総社市の障害者雇用施策の委員会の名誉顧問に元厚生労働省事務次官の村木氏には驚きました。

日 時	令和4年10月4日(火) 10時00分～11時30分
視 察 先	岡山県赤磐市
視 察 目 的	特定事件11 高齢者福祉の推進について ・公設民営化複合型介護福祉施設事業について
視 察 概 要	<p>公設民営化複合型介護福祉施設あかいわハートフル太陽設置事業に取り組んだ理由・背景など(保健福祉部長、社会福祉課長説明)</p> <p>1. 市民ニーズを一番に考えた市民病院の閉院</p> <p>高齢化が年々進む中、病院の閉院は、地元市民の大きな不安につながり、これからの時代には何が必要になってくるのか、安心した生活を送れるよう、懇談会を何度も開催し、勉強会も実施。地元病院を惜しみ、度々市長訪問があり、意見を伺ってきた。(平成26年～27年度)</p> <p>2. 基本構想策定(平成28年度)</p> <p>病院に代わる複合型介護福祉施設の整備、民間ノウハウの活用、基本構想策定は、民間コンサルタント委託、住民アンケート等の実施、要求水準、設計段階での意見聴取、関係者間で何度も協議し、設計に反映。災害時の福祉避難所、太陽光発電パネル、備蓄庫等も設置。</p> <p>3. 各施設の運営以外の事業実施</p> <p>①介護予防事業、健康づくり、子育て支援、スポーツ、地域住民向け教室及び委託事業など</p> <p>②入浴通所サービス事業</p> <p>③さんさんマルシェ・イベント</p> <p>4 効果</p> <p>令和元年4月オープン</p> <p>各施設、イベントの利用者及び収入額が増加している。日経BP総合研究所「まちのチカラを引き出しPPPアワード2020」入賞</p> <p>●施設視察(施設長より説明)</p> <p>施設はバリアフリー機能が考えられており、入浴介助室、グループホーム、訓練運動室、団らん室、利用者の部屋も明るくゆったりとしている。運営以外の各事業が出来るよう工夫されている施設</p>
所見及び所感	あかいわハートフル太陽はネーミングのごとく、地域の高齢者、障害者が行きやすい、利用しやすい施設、サービスの仕組みになっている

る。

地方のほうは高齢化、不便な生活環境なので、このような公設民営複合型介護施設が必要かつ重要。和光市もこれからの益々の高齢化に備える必要があると感じた。

コロナ禍の中だが施設を視察でき感謝。

日 時	令和4年10月3日(月) 14時00分～16時00分
視 察 先	岡山県総社市
視 察 目 的	<p>特定事件12 障害者福祉の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者千五百人雇用について</li> <li>・事業主の方のための障害者雇用支援について</li> </ul>
視 察 概 要	<p>(1) 挨拶 総社市議会議長 村木理英氏 総社市長 片岡聡一氏</p> <p>(2) 説明者 総社市保健福祉部課長</p> <p>(3) 視察先 人口 69,660人 世帯数 29,214世帯 面積 211.90k m<sup>2</sup></p> <p>(4) 障がい者千五百人雇用事業の経緯及び推移と体制</p> <p>(5) ワンストップ型の就労支援ルーム</p> <p>(6) 他の分野との連携</p> <p>(7) 総社市の取組</p> <p>(8) 障がい者千五百人雇用事業による成果と課題及び展望</p> <p>(9) ライフステージの一貫した支援</p> <p>(10) 現場視察 ①NPO法人ラ・ルーチェ「絆緑」がじゅまる ②社会福祉法人三穂の園 サンガーデン吉備路</p>
所見及び所感	<p>片岡市長から直接、障がい者千五百人雇用事業について、経緯からお話を伺うことができ、また、市長に直接質問ができたことは非常に良かった。</p> <p>総社市には、就労継続支援A型事業所が5事業所、就労継続支援B型事業所が12事業所に対して、和光市は、就労継続支援A型は0、就労継続支援B型は2事業所の現状で、市長が驚いていた顔が印象的だった。</p> <p>障がい者千五百人雇用事業が市の単独事業は、市長によるトップダウンで始まった事業であり、市長の強い意志を感じた。</p> <p>和光市での導入は厳しいと感じたが、まずはトップである市長が障害者団体と話をすることからだと思う。</p> <p>視察を快く引き受けてくださり感謝いたします。</p>



日 時	令和4年10月4日(火) 10時00分～11時30分
視 察 先	岡山県赤磐市
視 察 目 的	特定事件11 高齢者福祉の推進について ・公設民営化複合型介護福祉施設事業について
視 察 概 要	<p>(1) 挨拶 赤磐市議会議長 実森祥五氏 厚生文教常任委員会委員長 光成良充氏</p> <p>(2) 説明者 保健福祉部社会福祉課 保健福祉部介護保険課</p> <p>(3) 視察先 人口 42,661人 世帯数 16,439世帯 面積 209.36k㎡</p> <p>(3) 公設民営による共生型介護福祉の拠点の経緯</p> <p>(4) 市民ニーズの為の市民アンケートと市民との協議</p> <p>(5) 公設民営の利点</p> <p>(6) 利用者と地域の方々との交流</p> <p>(7) 今後の方向性</p>
所見及び所感	<p>市民病院が無床の診療所になったことをきっかけに、介護・福祉体制の整備を行ったことで、在宅医療、介護予防はもちろん、高齢者も障害者も自立した生活を送れている実態を視察できたことは有意義であった。</p> <p>8050問題、親亡きあと問題が全国的にある中、高齢者、障害者が同じ施設で生活できるという拠点があることは知ってはいたが、実際に利用者の声、周囲の声を聴くことができた。</p> <p>この事業もやはり総社市同様、市長の熱意を感じた。 視察を快く引き受けてくださったことに感謝いたします。</p>

日 時	令和4年10月3日(月) 14時00分～16時00分
視 察 先	岡山県総社市
視 察 目 的	<p>特定事件12 障害者福祉の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者千五百人雇用について</li> <li>・事業主の方のための障害者雇用支援について</li> </ul>
視 察 概 要	<p>総社市は岡山県の中南部に位置し、面積は約212km<sup>2</sup>。人口約6万9千人のまちで、障害者の就労支援に力を入れている。</p> <p>市内の18～64歳の障害者は約1,200人であるが、市外からも就労者を呼び込み、障害者を1,500人雇用することを目標としている(当初の目標は1,000人)。</p> <p>当初の就労者数は180人だったが、市長肝煎りの事業として平成23年に開始し、平成26年には、一般就労移行後6か月以上経過した方に就労支援金10万円を支給する、市独自の施策も始めた。平成29年に1,000人を達成し、総社市の取組は、テレビや雑誌などにも取り上げられた(令和3年度末で約1,200人)。</p> <p>障害者が経済的に自立して納税者になり、市税収入の増加にもつながっている(市県民税を納めている障害者は約250人で、給与収入総額は12億円以上)。</p> <p>市庁舎での説明の後、マスクなどをつくる内職作業の施設「がじゅまる」と、ガソリンスタンド「サンガーデン吉備路」を見学させていただいた(就労継続支援B型。社会福祉法人として全国初のフルサービス)。</p>
所見及び所感	<p>本来は国や県が行うべきことでも、市が必死になって取り組めば、ここまでできるということを証明している。</p> <p>障害者の法定雇用率は2.3%なので、43人以下の会社には障害者の雇用義務はなく、市職員や障害者のご家族からも当初は反対の声が多かったそうだが、障害者も戦力になるということを地道に事業者に訴え続け、成果が上がってくると、次第に応援する声が増えていったという。</p> <p>総社市では、さらに障害者の人生(ライフステージ)を全体にわたって支援することも視野に入れ、障害者の老後の居住環境の整備も進めている。</p>

政策に明確なビジョンがあるので、まちに活気が生まれる。

中国地方の中で人口増加率がトップであるというのもうなづける。

日 時	令和4年10月4日（火） 10時00分～11時30分
視 察 先	岡山県赤磐市
視 察 目 的	特定事件11 高齢者福祉の推進について ・公設民営化複合型介護福祉施設事業について
視 察 概 要	<p>赤磐市は岡山県の中南部に位置し、面積は約209km<sup>2</sup>。人口約4万2千人のまちである。</p> <p>高齢者や障害者を包括的に支援する、公設民営の複合型介護福祉施設「あかいわハートフル太陽」を視察させていただいた。</p> <p>この施設は、平成26年に閉院した市民病院の跡地に3階建てで建設され、令和元年にオープンした（指定管理者は社会福祉法人 昭友会）。小規模多機能型居宅介護「キバラ」（定員29名）、障害者グループホーム「ビルド」（定員5名）、居宅介護支援事業「えんじゅケアプランセンター」、サービス付き高齢者向け住宅「エルダーホーム」（20室）、介護予防・健康づくり事業「さんさん広場」からなる。</p> <p>民間ノウハウをより効果的に活用するため、事業者が参加しやすい公募条件にするとともに、設計・建設事業者より先に運営事業者（昭友会）を選定し、運営側の意見を設計に反映させることにした。</p> <p>選定後は、施設設計の指針となる要求水準書の策定時や、設計段階でも昭友会の意見を聞き、設計・建設を一括で発注するデザインビルド方式とし、同会の意見・提案を多く設計に反映した。</p> <p>公設民営で市民の安心感があるので、オープン後は申込みも多く、高稼働で運営できている（2階のサービス付き高齢者向け住宅は満室）。</p>
所見及び所感	<p>公設民営の複合型施設をつくるにあたって、市民や議会の理解を得るために時間はかかったが、運営事業者の意見を積極的に採用したことによって、スタッフも利用者も使いやすい施設となり、スムーズに運営できているようである。</p> <p>例えば、スタッフの動線が短くなるように設計されていたり、 아일랜드キッチンの導入によって、利用者の見守りがしやすくなっている。</p> <p>また、入浴通所サービスの取組が画期的で、通所や入浴を支援するサポーター自身の健康づくり・介護予防にもつながっている。</p> <p>様々な世代の地域住民との交流のためのイベントも開催しており、</p>

	<p>さらに防災拠点として、避難所や備蓄庫としての機能もある。 当施設が赤磐市の価値向上につながっていると思う。</p>
--	--